

第22回 兵庫便教会 報告

第22回兵庫便教会を10月28日(土)芦屋市立打出浜小学校のトイレをお借りして開催いたしました。雨のなか、13人の方が参加をいただきました。今回は遠方、龍野より定時制高校の4名の先生方が初参加、また同僚の先生を誘ってきていただいた方もおられて、ご縁のありがたさを改めて感じました。改修したトイレであったので便器は比較的きれいでしたが、場所が吹きさらしの環境であるために床や壁に汚れが目立ちました。クエン酸を溶かした液で丁寧に拭くと汚れがとれると同時に臭いもなくなっていきました。

さすがは志のある先生方ばかり。黙々と掃除に取り組む姿にその向こうにいる生徒たちの姿が現われてきます。ありがたいことです。



以下のような感想がありました。「前と後の空気感の違いを感じ、軽くなった。汚れに合った道具の使い分けは、生徒に対するアプローチの豊富さにつながると感じた。」「掃除をしていると生徒のことが頭に浮かんできた。そのうちに無心になって掃除をしていた。最後にはトイレであるのに居心地のいい空間になっていた。」「最初は便器の中に手を入れる

ことに抵抗があった。しかし覚悟を決めてやると意外に何ともなかった。覚悟を決めることの大切さを学んだ。」

「便器を磨く、床を磨くといった一つのことに取り組むと、やり方などいろいろなことに気づくことができることを学んだ。」「対象物の近くに寄って見てください。見えないものが見えてきますと言われて近寄ってみた。そして、また遠くから全体を見た。この見方は子どもを見る時も同じだと思った。」「道具を大切に、最大限に使うことは人も同じであると思う。その人の良さを最大限に引き出せるようにしたい。」



感想の交流の時に大谷先生からメールが届きました。ちょうどみんなで掃除をしているときに鍵山先生とお会いしていたようです。「つながっている」ことに感動を覚えました。

これからも続けて参ります。皆さま、ありがとうございました。



(文責 木田 重果)